

# 克明の子

家庭数

学校通信

令和7年(2025年)8月25日  
発行) 校長 吉川有美子



## 二学期が始まりました

今年の夏は、いつもの夏に増して猛烈な暑さでした。これまでの最高気温が更新され、一日に複数の観測地点で40℃越えが記録されました。猛暑日の連続で、保護者の皆様も子どもたちの健康管理が大変だったことと思います。しかしながら、夏休み期間中に大きな事故や怪我の報告がなかったことは、保護者の皆様や地域の皆様があたたかく見守ってくださっていたおかげです。心より感謝申しあげます。今日から二学期のスタートです。気持ちを切り替えて、毎日を大切に過ごしていきたいと思えます。

さて、二学期は運動会という学校行事や学校を離れて校外で学習する機会もあります。それぞれの学年の学習も一段と充実した内容となっていきます。毎日の学習や活動の積み重ねを大切に、日々の生活の中で子どもたちと教職員がともにがんばりを認め合いながら目標に向かって取り組んでいくことを願っています。元野球選手のイチローさんは「夢や目標を達成するためには一つの方法があるわけではない。小さなことを積み重ねるだけだ。」と語っておられたそうです。私は、一学期の終業式の日子どもたちに「夏休みは、小さなことでもいいので『よし、これやってみよう!』という目標を持ちましょう。」と話しました。目標を持って、いろいろなことを理由にしてやりたくない弱い気持ちが前に出てきてしまうこともあるかもしれませんが、子どもたちが弱い気持ちに負けずに、小さな積み重ねの成果が一人ひとりの自信となるよう、教職員一同、子どもたちに寄り添いながら励まし努めてまいります。保護者の皆様、地域の皆様には、今後ともご支援ご協力いただきますとともに、学習面、生活面で子どもたちへあたたかい見守りとお声かけをよろしく願っています。

## ★月★日(★)はオープンスクールです

時間：★★★★

場所：各教室や学級ごとの活動場所

\* お子さんの学級だけでなく、いろいろな学年の活動をご覧になれます。

\* ★時間目は、多目的室にて大人向けの「CAP」ワークショップがあります。どの学年の保護者のかたも参加できます。子どもたちは、★月★日(★)に2年生が「CAP」ワークショップを行いますので、2年生の保護者のかたは、ご参加願います。



## きゃっぶ CAPとは?

子どもたちは、毎日いろんな感情(気持ち)を持ちます。子どもは困っているとき、どうしていいかわからないでいるとき、怖い思いをしたときなど、その気持ちを言葉にして伝えることが苦手であることが多いです。言葉以外のいろんなサインを示すこともあります。

CAPとはChild Assault Prevention(子どもへの暴力防止)の頭文字をとったものです。子どもを対象にしたプログラム(子どもワークショップ)では、子どもたちにそれぞれ発達段階にふさわしい寸劇、歌、人形劇、討論などを盛り込んで、子どもを怖がらせることなく暴力防止の具体的な対処法を教えます。従来の「～してはいけません」式の危険防止教育と異なり、「～することができるよ」と身を守るための行動選択を練習します。安心、自信、自由の人権を子どもたちに繰り返し伝えることで、子どもたちが本来持っている「生きる力」を引き出すプログラムです。

子どもが自分の気持ちや困っていることを「言ってもいいんだ」と思えるようになるためには、まわりの大人が、働きかけをする必要があります。そのために、子どもの心と言葉を聴く姿勢や方法を学びます。CAPでは、おうちの方や教職員など、子どもを支える立場にある人が、子どもの話をどのように聴いたらいいのか、大人ができる具体的なエンパワメントの方法を学びます。



## 熱中症の予防を続けましょう

これから二か月の天気予報では、まだまだ暑い日が続きます。熱中症の予防について引き続き協力をお願いいたします。

☆水筒に十分な量の水分を持たせてください。(学校にはウォータークーラーもあります。)

☆運動会が終わるまでは、併用してスポーツドリンクを持たせていただくこともできます。スポーツドリンクは糖分や塩分を含んでいますので、必ず、水やお茶を持たせた上でお願いいたします

☆登下校のときは、帽子をかぶるようにお願いします。日傘の使用も可能です。日傘を使うときには、まわりの友だちに日傘を当てないように気を付けることをお声かけください。

☆登下校の途中で水分をとるときには、立ち止まってまわりの安全を確かめるようにさせてください。

☆登校時はクールタオル(保冷剤)、ネックリングを使用することも可能です。お子さんが自分で管理できるようにお願いします

☆早寝・早起き・朝ごはんを食べて体調を調えるようお願いいたします。

# ひろしま せかい はっしん めっせーじ 広島から世界に発信するメッセージ

とよなかし ねんせい しゅうがくりょこう ひろしま へいわきねんこうえん げんぱくしりょうかん おとず  
豊中市では、6年生が、修学旅行で、広島市の平和記念公園・原爆資料館を訪れます。

ほんこう こんねんど い  
本校も今年度は6/26～6/27に行ってきました。

そこでは、へいわせれもにーとして、ぜんこうじどう つる おり、せんぼつる にしたり折り鶴でアートを作  
成したりし、「げんぱく こ ぞう そば かか げんぱく こ ぞう もでる  
『佐々木禎子さん』というひろしま ひばく し さい な なくなった少女であることは、ご存じの方も多  
いと思います。

しかし私（わたし）もこの新聞（しんぶん）（8月4日毎日新聞夕刊）で初めて知ったのですが、まだこ にはお兄さ  
んがおられ、こうえんかつどう等（おこな）を行っていらっしゃいました。

なつやす ちゅう がつむいか このか にち せんそう へいわ に ニュース ばんぐみ  
夏休み中には、8月6日、9日、15日と、戦争や平和についてのニュースや番組もあったかと思  
います。まだこ さんのお兄さんのメッセージを世界中（せかいじゅう）で受け止められたらいいですね。



げんぱく こ ぞう  
原爆の子の像



せんぼつる  
千羽鶴



お づる あーと  
折り鶴アート